

特定健康診査受診率

	対象者数	受診者数	保険者受診率	県受診率	県内自治体最高	県内自治体最低
令和4年度	5,772人	1,891人	32.8%	39.3%	56.6%	31.4%
令和5年度	5,465人	1,922人	35.2%	39.7%	56.8%	32.2%
令和6年度	5,106人	1,746人	34.2%	40.8%	58.4%	33.9%

■令和6年度の特定健康診査(人間ドックを含む)受診率は、34.2%(前年比▲1.0%)であり、県平均受診率(40.8%)および計画目標値(36%)をそれぞれ下回る結果となりました。受診率向上に向けて、新たな取組を行っていきます。

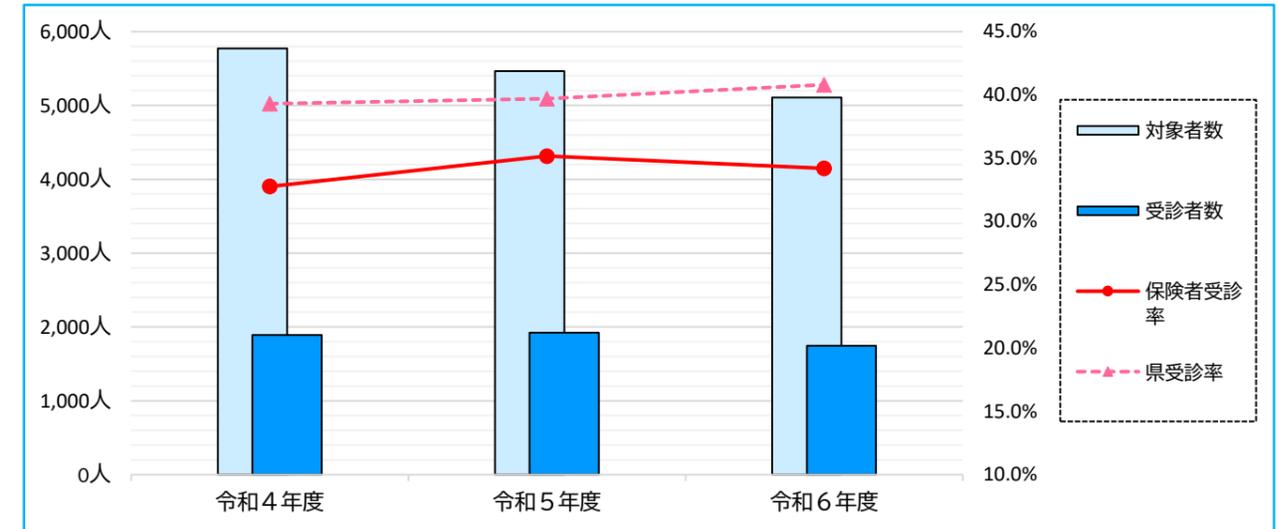
《新たな受診率向上のための取組(令和7年度)》

○外国語通訳の健診会場への派遣

外国人の受診率向上のため、市役所から外国語の通訳を派遣し、受付や案内対応を行いました。また、チラシ(英語・ポルトガル語)を作成し、事前に対象者に周知を行いました。

○市内医療機関の協力による受診勧奨チラシの配布・ポスターの掲示

「通院しているから特定健診は必要ない」と思っている人が多いことから、市内医療機関に協力いただき、受診勧奨チラシの配布およびポスターの掲示を行いました。



特定保健指導利用率・終了率(実施率)

	保険者利用率	県利用率	保険者終了率	県終了率	県内自治体最高終了率	県内自治体最低終了率
令和4年度	19.8%	22.4%	19.4%	19.9%	80.4%	6.2%
令和5年度	23.3%	22.3%	20.2%	19.2%	72.4%	0.0%
令和6年度	22.2%	23.6%	14.2%	20.7%	76.9%	0.0%

■令和6年度の特定保健指導利用率は22.2%(前年比▲1.1%)であり、県平均(23.6%)を下回りました。また、終了率(実施率)は14.2%(前年比▲6%)であり、県平均(20.7%)および計画目標値(22%)をそれぞれ下回る結果となりました。利用率および終了率向上のため、個別に応じた丁寧な保健指導の勧奨・実施を実施します。

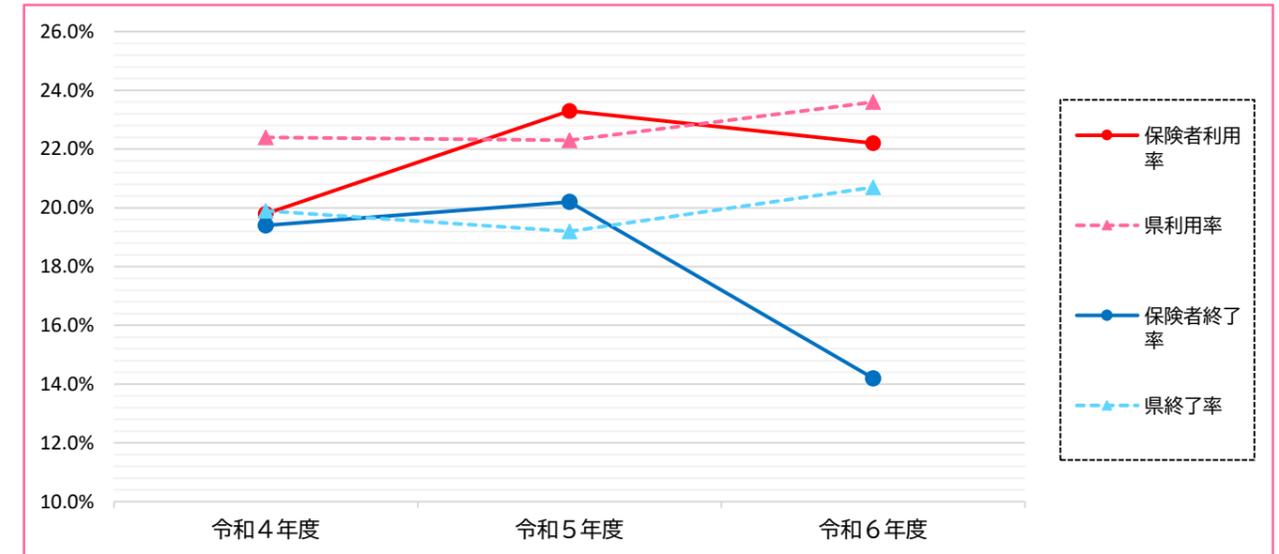
《新たな利用率・終了率向上のための取組(令和7年度)》

○管理栄養士の健診会場への派遣

市民窓口課の管理栄養士を健診会場に派遣し、健診の結果、特定保健指導の対象となった方に、その場で直接対応し、特定保健指導の予約を受け付けました。

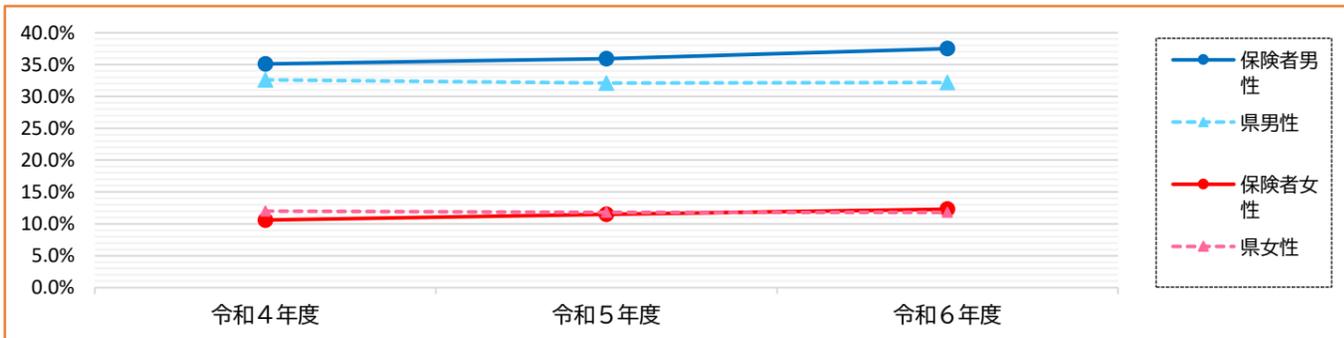
○特定保健指導プレミアムコースの実施

(株)ヤクルト東海に協力いただき、通常の特定保健指導に加え、からだの測定(肌年齢、野菜摂取度、体内糖化度等)および参加賞の付加価値を付けた特定保健指導プレミアムコースを開催しました。12月23日(火)、24日(水)の2日間で30人の出席があり、特定保健指導の利用率を大きく向上させることができました。



メタボ該当者の割合

	保険者男性	県男性	保険者女性	県女性	県内自治体最高		県内自治体最低	
					男性	女性	男性	女性
令和4年度	35.1%	32.6%	10.6%	12.0%	41.1%	18.7%	23.3%	6.6%
令和5年度	35.9%	32.1%	11.5%	11.8%	40.8%	21.4%	27.7%	6.4%
令和6年度	37.5%	32.2%	12.3%	11.8%	43.4%	18.6%	27.6%	6.9%



■令和6年度のメタボ該当者の割合は、岩倉市国保加入者のうち男性が37.5%、女性が12.3%であり、男性女性ともに県平均および計画目標値(男性:34.5%、女性:10%)をそれぞれ上回る結果となりました。また、メタボ予備群の割合は、男性が19.5%、女性が5.9%であり、県平均との比較では男性は上回り、女性は下回る結果となり、計画目標値(男性:19.5%、女性:5.8%)との比較では、男性が同率、女性が下回る結果となりました。数値の改善のため、保健指導を行う専門職の指導力向上のため、勉強会や研修へ積極的に参加し、保健指導内容の充実を図ります。

メタボ予備群の割合

	保険者男性	県男性	保険者女性	県女性	県内自治体最高		県内自治体最低	
					男性	女性	男性	女性
令和4年度	20.3%	17.6%	6.0%	6.0%	21.2%	12.5%	13.4%	3.7%
令和5年度	17.4%	17.7%	7.0%	6.0%	21.0%	8.9%	6.1%	4.0%
令和6年度	19.5%	17.7%	5.9%	6.2%	21.8%	8.5%	4.6%	2.5%

